

『ベップ・アート・マンス2012』のイベント “ideal Fit”インスタレーション作品展



住居兼迎賓館として建てられた別府市「聴潮閣」において、本学美術科の学生4名が平面およびインスタレーション作品を展示しました。和と洋を併せ持つ近代日本の新しい時代との経過を体感させます。このリアルな体感には日本の独特な美的空間、作品を取り巻く外的な要因との相互の関係、その存在意識を現代に「Fit」させた芸術表現の展覧会として企画。そこには新しい「idea」を私達に感じさせる挑戦的な表現に学生たちが挑むことができました。また、本学他学科の機能を取り入れて、茶道部と美術陶芸専攻によるコラボレーション茶会、芸短弦楽アンサンブル演奏会、アーティスト・トークと芸文短大ならではの多彩な催しを実現し、美術関係者の訪問やメディアに取り上げられる結果を得ました。制作やデザインングの構想から、パンフレット制作やFacebookなどを使った広報活動、開催期間の運営と学生たちも全力でこのイベントに力を注ぎ、多くの体験をすることができました。

美術科

Department of Art

左合ひとみさんをお招きして デザインスクールを開催

本学と日本グラフィックデザイナー協会大分地区（JAGD A-OITA）とのタイアップイベント「GEITAN ONE DAY SCHOOL」を開催しました。講師としてお招きしたのは、地産デザインを提唱し、パッケージや商品開発などを手がけているデザイナーの左合ひとみさん。第一部の講義では、「地域を輝かせるデザイン」をテーマに左合さんがプロデュースした商品事例を踏まえスライドと共に解説していただきました。第二部では、課題作品の審査・講評会を行いました。課題「食品」などの「ミニレーションデザイン」「プロダクトデザイン」「観光・街づくりのデザイン」の3部門から学生が提案するデザインを出展し、ロビーにて展示。100点近くの作品の中から優秀作品10点を選出し、講評していただきました。優秀者の学生は、記念品として左合さんが手がけられた書籍をサイン付きでいただきました。終了後は、講演会参加者で大分市美術館横レストランにて交流会を行いました。



第51回美術科 卒業・修了制作展

卒業・修了する学生たちがこれまでに学んだ成果と創作研究の集大成としての作品を対外的に発表するために毎年、卒業・修了制作展が開催されます。美術専攻「日本画・油画・ミクストメディア・彫刻」デザイン専攻「ビジュアルデザイン・生活造形デザイン（陶磁・テキスタイル・プロダクト）」のそれぞれのコース毎に、学生たちの個性豊かな作品を会場に展示しました。また、造形専攻科の学生は個々の思いの詰まった独自の作品を展示しました。この卒業・修了制作展は、多くの関係者及び専門家から高い評価を得ています。



地域ふれあいアート講座

美術科では、「地域ふれあいアート講座」を地域社会貢献活動の環として平成17年から毎年行っています。子どもたちに創作の喜び、楽しさを味わってもらい、造形美術に対する興味や子どもたちの本来の感性を引き出すことを趣旨としています。今回は、中津市立真坂小学校の生徒1、2年生と本学美術専攻1年生とで、ハンドペインティングを体験する「ベタベタ大作戦」を行いました。本学学生と子どもたちのふれあいは、双方にとって楽しい思い出となりました。

